

アカゲラ通信

2018年7月号
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



レストハウス営業中です！

旭山記念公園レストハウス営業中、今月からメニューを1品ずつ写真つきで紹介します。

7月は「ポテチキ」、ポテトとチキンを絡めてからっと揚げたもの。

独特の風味と食感が楽しめます。レストハウスにて発売中、ぜひ一度お試しください！



オオムラサキと旭山7月のチョウ

先月に続き、「里山的環境」として旭山記念公園を見るというお話、今月は「蝶」がテーマ。

2018年7月1日現在、旭山記念公園で確認された蝶は何種類でしょう？

正解は【58種類】、そんなにたくさん？と思われる方も多いのではないかと。

これも、狭い範囲にいろいろなタイプの環境が凝縮された旭山の自然を物語る数字ではあります。

今回はその中から7月に見られる特徴的な蝶をピックアップしてみました。

◎オオムラサキ

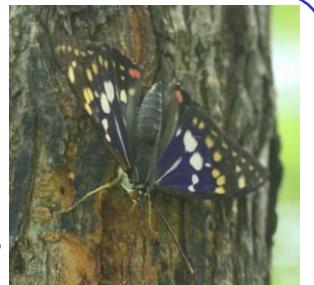
日本の国蝶で北海道では限られた場所にしか生息していない大型の蝶。

旭山はその限られたひとつで、地元の子ども達を中心に保護活動が行われています。

オオムラサキの幼虫が葉を食べるエゾエノキを種子から発芽させて苗木を育てたり、幼虫が越冬する落ち葉をためておく「エコスタック」を作ったり、といった活動です。

オオムラサキは高く飛ぶことが多くなかなか見られませんが、たまに低く降りてきます。

今年は発生数が多い可能性があり、見られる機会が多いかもしれません。



◎ジョウザンミドリシジミ

「ゼフィルス」と呼ばれ人気が高い蝶の1種。陽光を受けて青く輝くはねが美しい。

つり橋と

第2駐車場

付近でよく

見られます。



◎アカシジミ

青くない「ゼフィルス」の代表。園内ではミズナラの大木付近で時々見かけます。

よく似た

ムモンアカシジミ

は旭山では

かなりレアな種。



◎ヤマキマダラヒカゲ

初夏から夏の間長く見られる蝶。はねを広げてとまるることはなく表はなかなか見られませんが、♂は橙色がかって茶色が意外ときれい。



◎クロヒカゲ

全身黒褐色でよく「蛾」といわれますが「蝶」の仲間。幼虫は笹を食べて成長、笹のある園内どこにでもいて、旭山で最も多い蝶です。



～蝶以外の昆虫トピックス～

旭山にアオヤンマ現る！

湿地に生息するアオヤンマが、今年6月旭山に現れました！アオヤンマは超高速で飛び回りなかなか見られないためトンボ好き憧れの種ですが、この時は餌の蚊をくわえて草にとまった姿をじっくりと観察・撮影できました。しかしどこから来たのかは不明、もしかして近くで繁殖か？



7月の「野鳥観察会」「自然観察会」

●「旭山野鳥観察会」毎月第2土曜日開催、今月は7月14日(土)、来月は8月11(土)です。

8時開始、参加費100円(保険代として)、双眼鏡無料貸出します。

●「旭山自然観察会」毎月第3日曜日開催、今月は7月15日(日)、来月は8月19日(日)です。

9時開始、参加費100円、双眼鏡貸出あり、植物や昆虫観察を中心に「旭山都市環境林」を歩きます。みなさまのご参加お待ちしております！

アメンボはどうやって来るの？

水辺でおなじみのアメンボ、川や公園の池はもちろん、雨上がりの水たまりでも見られることあります。でも、水たまりのアメンボはどうやって来るの？ 自然に沸いてくる（まさか）、歩いて？ ジャンプして？ 答えは簡単、アメンボは昆虫、飛んで来ます。 そうかアメンボも飛ぶんだ…アメンボが飛ぶなんて意外に思うかもしれません。 旭山では都市環境林「ふしき池」にたくさんいます。 最後にもう1問、アメンボは次のどれに近い仲間？ セミ、クワガタ、ガガニボ？ 正解はセミ！ アメンボはセミと同じカメムシ目です。 ということは…セミもカメムシに近い仲間でもあるのです。



7月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧いただけます。 森の家までおたずねください。
★クマゲラとキビタキの声が似ている！？ =キビタキの囁きをカタカナで表すと「ヒリー ピッポコピ」といった感じになりますが、時々クマゲラが飛ぶ時の「プルプル」という声に似た声を出すことがあります、ご注意を。
★アオバトはユニゾン（齊唱）しない！？ =アオバトが今年も群れで桜の実を食べに来ていますが、複数が同時に「ア～オ～」と鳴くことはないようで、鳴き声のする方に行くと数羽が連れ立って飛んで逃げることがあります。 鳴いている1羽は群れの中の見張り役かな？！
★イカル=今年は桜の実を食べに来る姿がよく見られています。
★シマエナガ幼鳥=6月上旬に3~5羽の幼鳥が巣立ち、しばらく親子の群れを森の家の周りでもよく見かけましたが、6月30日に3羽を園内で確認。 うち1羽はまだ目に黒い帯がかかり、別の1羽は黒い帯が後頭部にだけある、と、同じ日に巣立っても成長の度合いが違うことが分かりました。
右写真右が黒い帯が目にまだかかるっている幼鳥、左がかかるていないもの。



旭山ネイチャーミニフォトギャラリー 2018年6月



「蟲浴び」するハシブトガラス



餌をねだるヤマガラ巣立ち幼鳥



ジムグリ(蛇)



エゾサンショウウオとエゾアカガエルの幼生



ルピナスとセイヨウオオマルハナバチ



今年も咲いたベニバナイチヤクソウ



今年は少なかったコケイラン



フランスギクと青空

編集後記

以前「エゾリスの糞を見たことがない」と話しましたが、ついに発見しました！ 「栗の木デッキ」にいたエゾリスの足元にあったもので、ある意味貴重な写真。 小豆くらいの大きさで、より体が小さいモモンガのものよりも小さくて黒く、 これでは地面に落ちていてもなかなか気づかないのも納得です。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第55号 2018（平成30）年7月7日発行

発行：（公財）札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話 011-200-0311（土・日・祝日10時～16時）FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>